

<ポイント> 数量の表し方(2)

○整数の表し方

① わられる数 = わる数 × 商 + あまり

② 十の位がx、一の位がyの2けたの整数 →  $10x+y$

<例> 6でわると商がxであまりが3になる整数は  $6 \times x + 3 = 6x + 3$

十の位が4で一の位がxの2けたの整数は  $10 \times 4 + x = 40 + x$

※ 整数の表し方は中2や中3でも出てくるので、しっかり覚えておくこと

○平均の表し方

① 平均 = 全体の合計 ÷ 個数

② 全体の合計 = 平均 × 個数

<例> 3回のテストでx点、y点、z点をとったときの平均点は  $\frac{x+y+z}{3}$  (点)

【1】 次の数量を、文字式のきまりにしたがって表しなさい。

(1) xでわると商が6であまりが2になる整数 (  $6x+2$  )

(2) pでわると商がqであまりがrになる整数 (  $pq+r$  )

(3) 十の位がx、一の位が5の2けたの整数 (  $10x+5$  )

(4) 百の位がx、十の位がy、一の位がzの3けたの整数 (  $100x+10y+z$  )

(5) 3人の体重がxkg、ykg、40kg のときの平均の体重 (  $\frac{x+y+40}{3}$  (kg) )